

2016年50.240SSB モービルグループ電波伝搬実験

JA1WOB 齋藤

5/22 の早朝5時に立川の自宅を出発して、電波伝搬実験をコントロールする移動場所の「有間峠」へ向かいました。

待ち合わせ場所の有間ダムに向かう途中の小澤峠で、7M2FQYとJF1ZFC（宍戸）コンタクト出来ました。

有間ダムには6時少し前に到着して、50.240で声を出すと、JA1VWB固定局と繋がり挨拶を交わしていると、JF1ZFCからBKが入り、青梅市内に入ったとの連絡でした。有間ダムに来る途中に幾つかのトンネルを越えて来るので、トンネルで電波は途切れ、トンネルを出ると、信号が強くなる、ハズが！、トンネルを出ると信号が弱くなるのです、これは違う方向へ行ってしまうと思い、地元のJA1VWB局に、誘導をお願いしました。

宍戸さんは、青梅市内方面に向かった様なので、成木、小澤峠、方面へJF1ZFCの誘導をお願いして、無事、有間ダムで待合せが出来ました。

（JA1VWB、木村OMに感謝！！）

有間ダムから、広河原逆川林道を登り、電波伝搬実験のコントロール場所の、「有間峠」に到着すると、なんとANTが3本上がっていました。

早速、挨拶に行くと、足立区から移動運用に来ていた2局で、50M、144M、430Mを運用するとの事でした、アイボール名刺を交換すると、過去に何度かQSOしている、移動好きなJO1K※※OMでした。

9時から、電波伝搬実験を行う事を伝え200m位離れた場所に移動して、ANTの設営をはじめました、モービルANTで50.240MHzを受信していると、やはりカブリがありました、弱い信号の局は受信困難と思い、8時過ぎる頃から240各局に、50.440MHzへのQSY連絡を行いました。

5/8GPと4エレHB9CVの設営が終わり、コントロール準備を始めて240各移動局との準備状況

の確認が終わったころ、JO1K※※局が、「9時から50MはQRTします」とわざわざ伝えに来てくれました。垂直に立てたHB9CVを見て、垂直偏波ですか？と不思議そうでしたが、モービルホイップアンテナを使った伝搬実験の話をするとう納得していました。



9時に50.440で、電波伝搬実験のアナウスのを行い、遠方のJJ1SXA/7、二本松市をコールしますが、応答がありません。

急遽、50.240でコールすると、41～51で応答があったので、50.440にQSYを連絡しましたが、返答が確認出来ませんでした。

伝搬実験開始の時間も過ぎてしまうので、次に遠方のJA1FYQ/1 鴨川市から、実験を開始しました。



J A 1 F Y Q / 1 終了後に、J J 1 S X A / 7 をコールするが、コールバック無しなので、次に、J A 1 R I Z / 1 秩父郡からの実験を行いました。

そして再度、J J 1 S X A / 7 をコールするとコールバックがあり、Q S B を伴いながら 4 1 ~ 5 1 で入感してきました。

1 エリアの移動各局が何局かコールするが、J J 1 S X A / 7 からのコールバックは確認出来ませんでした。コントロール局は 5 / 8 G P と 4 エレ H B 9

C V を、切替えてみたり、ビーム方向を変えて最良の受信方向を探りましたが、最終的には 5 / 8 G P が R S 5 1 でベストでした。

H B 9 C V のビーム方向が正確にとらえられなかったのかも知れません。

続いて、7 M 2 F Q Y / 1、J K 1 W M V / 1、J P 1 K H Y / 1 と続きエントリー局のレポート交換は終了しました。

E スポが出ている可能性があるので、J R 2 C T R / 6 の福岡県宗像市をコールしましたが残念ながら、応答は有りませんでした。

電波伝搬実験終了後、通常の移動運用を 10:30~12:00 まで行い 43 局と交信できました。その交信のなかで、高校生時代のハム仲間の J A 1 V G ※ と 5 0 年振りに交信が出来ました。移動運用でロケーションの良い所で長時間 Q R V すると、昔に交信した局と出会う事が多くあります。団塊世代のハム仲間も仕事をリタイヤして、カムバックして来る人も多いようです。若い人が増えないぶん、カムバックハムが増える事は F B な事と思います。

2 4 0 各局も、ローコールと電波伝搬実験だけでなく、移動運用などで Q R V すると、思わぬ旧友とめぐり会うかも知れません。

モバイルで F B なロケーションに行った際には 5 0 . 2 4 0 M H z で C Q を出してみてください。思わぬ局と出会う事があります。



終わり